

「解答・解答例等」

| | |
|---|---|
| 選抜区分 | 2026年度（選抜区分：一般選抜 前期日程） 地域創生学群 地域創生学類（科目名：課題論文） |
| <p>■課題論文に関する解説</p> <p>資料から、公共図書館については図書館数、専任職員数、貸出数などの推移が示されており、地域における知識や学びの拠点として一定の役割を果たしていることが読み取れる。一方で、民間書店は店舗数の減少が続いており、地域において本に触れる機会や文化の拠点が縮小している状況が指摘できる。また、新聞記事からは、書店の減少に対して不安を感じる人が多く、国や自治体による書店支援に賛成する意見が多数を占めていることが示されており、書店が地域文化の重要な担い手として認識されていることにも触れる必要がある。</p> <p>こうした点を踏まえ、解答の一例として図書館（公共）と書店（民間）がそれぞれ異なる役割を持ちながら地域の文化・知識基盤を支えていることを整理し、地域住民が知識や文化に触れる機会を継続的に確保できる地域社会の将来像を示す。その上で、図書館と書店の連携による読書活動の推進、地域イベントの開催、図書館・書店の新たな機能強化とそれに対するサポートのあり方など、地域における具体的な対応策を提案することが考えられる。</p> <p>評価にあたっては、資料から読み取れる内容を適切に整理しているか、提示された資料を根拠として論理的に考察しているか、さらに地域社会の将来像と具体的な対応策を結び付けて述べているかといった点を重視した。なお、本設問では資料を踏まえて地域課題を多面的に捉えることを求めており、将来像や対応策については多様な観点からの答案が考えられる。本設問は、地域社会の課題を資料に基づいて分析し、将来像と具体的な対応策を構想する思考力を評価することを目的とするとともに、地域創生学群が重視する地域課題の発見と解決に向けた実践的な思考力を測ることを意図したものである。</p> | |